KOBE UNIVERSITY OF WELFARE　神戸医療福祉大学後援会報

ともに生きる

No.34
平成29年9月発行

第4回 ふくさきマラソン
2017.5.21

目　次

・会長挨拶・大学代表挨拶（学長）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
・平成29年度後援会事業計画・今後の学事日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
・普通救命救急講習会・ＡＥＤ寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
・求められる社会人基礎力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
・多文化ソーシャルワークって何だろう?!・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
・姫路キャンパス・大阪天王寺キャンパス学友会活動・・・・・・・・・・・・・・・6
・部活動・留学生交流会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
・新任教員紹介・こうふくフェスタ播彩祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

ご挨拶

後援会会長
佐々木 孝二

初秋の候、神戸医療福祉大学後援会会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、平成29年度後援会会長を務めさせていただくことになりました。微力ではございますが、大学と協力しつつ後援会の役員・事務局の方々とともに、学生の皆様にとって大学生活が充実したものになるようにできる限りの応援をさせていただこうと思っております。そして、大学の更なる発展に寄与できます様に努力して参る所存でございます。会員の皆様におかれましても、日頃より後援会の活動につきまして、今後の益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、神戸医療福祉大学は開学18年目を迎え、その建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を基に着実に伝統と信頼を築かれ、福祉未来の創造を目指し、社会に貢献し活躍できる「神福（こうふく）大生」を養成すべく教育の質を高めるための様々な施策を進めてこられました。

学生たちも、自然豊かなキャンパスで伸び伸びと勉学、課外活動に励んでおります。できるだけ多くの学生が、在学中に社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・保育士等の国家資格や、中学校・高等学校の保健体育の教員免許取得に向けて勉学に励むとともに、各種実習・ボランティア活動などの実践的演習を体験することで、地域のニーズを理解し自らの人間性を豊かにし、福祉未来に向かって成長していくことを願っています。後援会としましても、教育事業・地域交流活動・課外活動などを中心に引き続き積極的に支援を進めて参ります。

それと会員の皆様にはぜひ一度、播彩祭・教育懇談会等の機会に大学にお越しいただき、学生たちの様子をご覧いただければと思います。特に教育懇談会は保護者の皆様とクラス担任あるいは指導教員の先生方とが直接懇談できるたいへん有意義な機会でございます。ご子女の学業・学生生活ならびに就職状況・大学の現状を把握していただく良い機会でございますので、一人でも多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

最後になりますが、教職員の方々・地域の関係者の皆様のご健勝をお祈りいたします。夏バテは秋に出るとも申しますが、体調管理には是非お気遣いください。

ご挨拶

学　長
都築 明寿香

後援会の皆様におかれましては、日頃から本学に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年は、ゴールデンウィーク後の5月21日に、本学が主催する第4回ふくさきマラソンが開催されましたが、招待選手・一般選手、実業団、学生陸上部、アジア諸国からの留学生など多数の方が参加し、参加スタイルや観客の応援・声援も進化して、年々盛り上がりを見せているように感じております。

さて昨年の11月には、神戸医療福祉大学の母体である都築学園が創立60周年をむかえました。「時代を創造する青年の個性を伸ばし、自信をつけさせて世界に送り出したい」という創始者のことばを胸に刻むとともに、本学で学ぶ学生達の個性を引き出して、それを伸ばし、学生が各自の目標に向かって努力し、結果に結びつくよう教育・指導していくことを改めて決意した次第です。時代の変化のなかで本学の果たす社会的役割を認識して新たな気持ちでスタートを切りました。その結果、今年は社会福祉士の国家試験の現役合格率が66.7%（全国平均25.8%、既卒者も含む）と昨年の29.5%、一昨年の18.5%と比べて大きく伸び、大学創立以来の好成績となりました。さらに5月には硬式野球部がⅢ部リーグで優勝し、Ⅱ部リーグに昇格するなどの飛躍も見られました。

また地元の県立福崎高等学校をはじめ、クラーク記念国際高等学校（芦屋キャンパス）、岡山商科大学附属高等学校、高知県立伊野商業高等学校などとの高大連携の協定を結ぶとともに、大学内に総合健康サポートセンターを開設するなど、大学と高等学校、大学と地域の絆を深めていくことにも取り組んでいます。

最後に、今後も学生一人ひとりが自分に誇りと自信を持ち、社会において立派に活躍できる人材になりますように、教職員一同、粉骨砕身努力していく所存でございますので、保護者の皆様におかれましても、本学の発展のためにご理解、ご協力、ご支援を引き続き頂戴できますよう心よりお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

平成29年度後援会事業計画

1　会議

総　会　　平成 29 年 7 月　1 日(土)　　11：00 ～
役員会　　平成 29 年 9 月 30 日(土)　　11：50 ～
　　平成 30 年 2 月 17 日(土)　　11：50 ～

2　学生福利厚生等への補助

国家試験対策(社会福祉士･精神保健福祉士･介護福祉士)補助
就職活動支援　基礎教養講座補助
資格取得支援費補助
(福祉住環境コーディネーター、日本語能力検定、介護職員初任者研修等)
学研災付帯賠償責任保険料補助
学園祭実施経費補助、新入生クラス会実施経費補助
備品補助(AED1台 他)
課外活動補助(連盟登録費、活動費、激励金、学外指導者経費)
卒業記念パーティー実施補助
卒業アルバム作成費補助
大学所有地における竹林活用補助
留学生支援

3　事務運営活動

後援会報作成および発送　第34号(9月発行)、35号(3月発行)
慶弔費支出

今後の学事日程

H29	
9/25(月)～28(木)	追･再試期間
10/2(月)･3(火)	後期オリエンテーション
10/4(水)	後期授業開始
10/20(金)	学園創立者記念日
10/28(土)･29(日)	学園祭
12/26(火)	年内最終授業
H30	
1/5(金)	後期授業再開
2/5(月)～10(土)	後期試験
2/19(月)	後期成績発表(成績配布)
2/21(水)～24(土)	追･再試期間
3/16(金)	学位記授与式(予定)

フレッシュマン交流会(1年生歓迎会)の様子

普通救命講習会

7月15日(土)、B棟8階ホールで消防署職員指導のもと、普通救命講習会を実施しました。

普通救命講習とは、消防本部によって実施される成人の心肺蘇生を中心とした3時間の応急処置技能認定講習です。

学生たちは緊張しながらも、ひとりずつ訓練用ダミー人形を使って体験をしました。

平成28年度 後援会寄贈
フィットネスセンター前

求められる社会人基礎力

キャリアサポート部長
本多浩子

●社会人基礎力とは

「社会人基礎力」とは、文字通り、「社会（職場）で求められる基礎的な能力」のこと。2006年に経済産業省が「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を3つの能力（12の能力要素）からなる「社会人基礎力」と定義づけました。

●3つの能力と12の構成要素

3つの能力は、「前に踏み出す力（アクション）」「考え抜き力（シンキング）」「チームで働く力（チームワーク）」で、この3つにはさらに、「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「創造力」「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「情況把握力」「規律性」「ストレスコントロール力」の12の要素で構成されています。

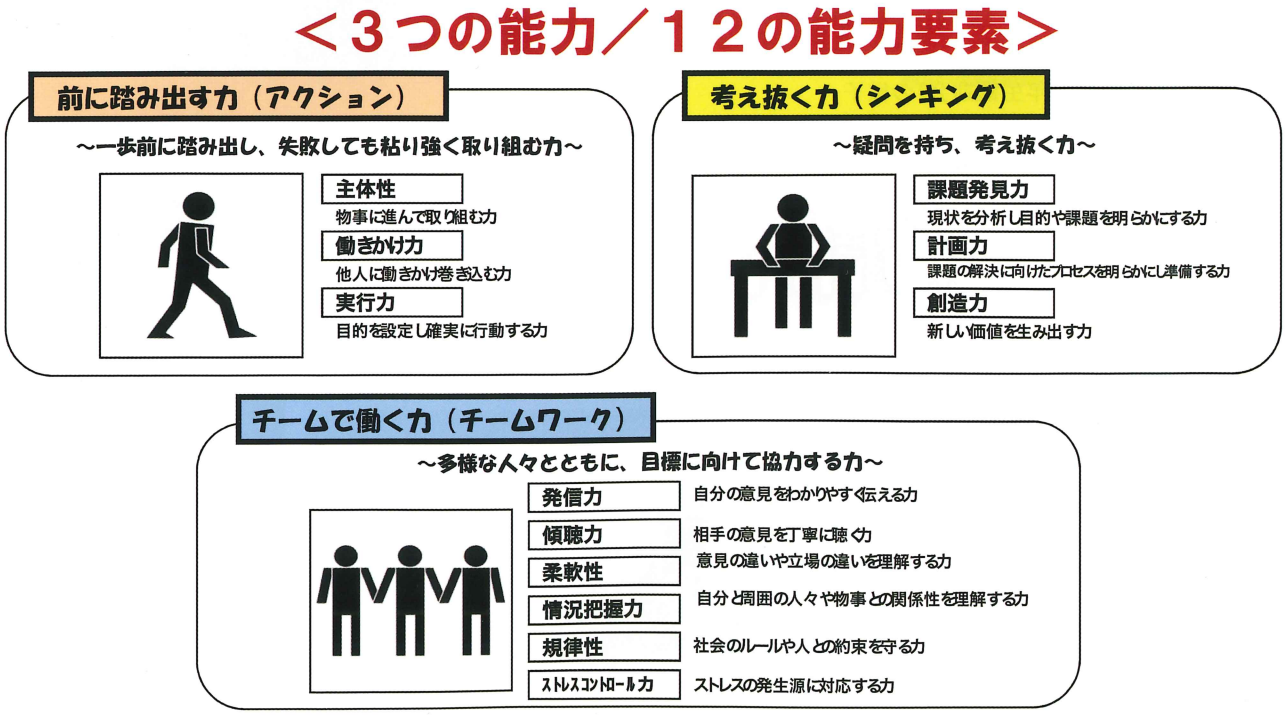
●社会人基礎力の育て方

すべての能力を持ち得ている人はどのくらいいるのでしょう。ほとんどの人は、各能力に強弱があり、その強みとなる能力を活かし、弱みとなる能力を自ら捉え、課題に取り組んでいるといえます。これらの能力は、専門知識とは違い、具体的な行動の中で初めて身に付き、鍛えられるものといえるでしょう。学業やサークル・部活動、アルバイト、友人との付き合い、資格取得、ボランテイア活動等は、この能力を培う貴重な場といえます。

●「日常性」の中で意識すること

学生は、求められる社会人基礎力を「日常性」に意識し、大学生活を送ることが大切になります。大学、教職員は、「DO LOOK THINK GROW」やってみて考える、その中で成長できる場を「日常性」により充実していきたいと思います。学生が主体的にチャレンジし、多くの失敗を体験し、その失敗からの気づきを学生と共に大切にできる大学でありたいと思います。

最後になりましたが、日頃の後援会のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。



多文化ソーシャルワークって何だろう?!

大阪天王寺キャンパス長
拾井雅人

ご存知でしょうか。今、大阪府では、半世紀ぶりに国際博覧会を開催できないか検討されていることを。1970年、大阪府吹田市の千里丘陵で日本万国博覧会（以下、大阪万博と言います。）が開催されました。小学4年生だった私は、親に連れられて見に行きました。奇抜な形をしたパビリオン群、人気パビリオンの入口にできた長蛇の列、水平に動くエスカレータ。私にとって大阪万博は驚きの連続でした。なかでも最も印象深かったのは、多くの外国人を“生”で見ることができたこと。当時の私には、外国人はテレビの中の登場人物でしかなかったので…。

在留外国人統計によると、昨年末に日本で暮らす外国人は約240万人でした。1969年末が約70万人でしたので、この47年間に3.4倍増加したことになります。日本で暮らす外国人のように異なる文化を持つ人々の中には、彼ら・彼女ら特有の生活課題を抱えている場合があります。例えば、日本の医療制度がわからない、子どもが学校に行かない、国際結婚でトラブっている、失業して生活が苦しい、など。やや粗い定義になりますが、多文化ソーシャルワークとはこのような多様な文化を持つ人々に対する相談援助のことです。

経営福祉ビジネス学科（大阪天王寺キャンパス）では今年度から新しいカリキュラムがスタートしました。多文化ソーシャルワーク論、国際福祉論、国際人権論、国際ボランティア論などを新たに追加し、これまでの多文化共生論などと合わせて、多文化ソーシャルワーカーに求められる知識や技術などを修得しやすくしました。

もし2度目の大阪万博が実現したら、大阪の注目度はアップし、大阪で暮らす外国人はもっと増えることでしょう。そのとき、大阪では、経営福祉ビジネス学科を卒業した多文化ソーシャルワーカーが大活躍しているかもしれませんね。

ボーリング大会（6/8）

大阪天王寺キャンパス　BBQ親睦会　六甲山カンツリーハウス（5/13）

姫路キャンパス
学友会運営委員会

自分たちで作る キャンパスライフ

社会福祉学科２年
学友会運営委員会 委員長
松本 聖奈
（まつもとせいな）

学友会運営委員会では、学内の行事の手伝いやイベントの企画、運営などを行っています。

4月に行われたフレッシュマン交流会では、学友会運営委員会、播彩祭実行委員会、ボランティア活動支援センター、そのほか多くの部活動、サークル、同好会の方に参加していただき、新入生の歓迎会と部活動、サークル紹介を行いました。歓談やゲームを通して、新入生同士の交流だけでなく、先輩や先生方との交流も深まりました。

また、留学生向けの交流会も行いました。学年や出身国に関わらず様々な方とお話ができ、自分自身もとても楽しく良い経験ができたと思います。

7月3日から1週間、1階ホールにて七夕イベントを開催しました。学内に笹を設置し、学生の皆さんに想いあふれる願い事を書いてもらいました。今後も学生生活を楽しんでもらえるように、季節感のあるイベントを企画していきたいと思っています。

後期にも様々なイベントを企画しています。今後も学友会活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

大阪天王寺キャンパス
学友会運営委員会

大阪天王寺キャンパス 学友会活動について

大阪天王寺キャンパス2017年度学友会会長、ラウロン・マール・ネル・サロモン（フィリピン人）です。

今年度は4月3日に新入生歓迎会、5月13日に六甲山カンツリーハウスでBBQ親睦会、6月8日に第2回ボーリング大会、7月7日に校内にて七夕会を実施しました。

今回のBBQ親睦会は、奈良にある「のどか村」ではなく、「六甲山カンツリーハウス」でした。食べ、飲み、歌い、遊び、しゃべり放題!!でみんなが非常に盛り上がり、素敵な笑顔があふれていました。

七夕会では、日本人学生をはじめ、多くの留学生がお祭り気分を味わいました。今年もレンタル浴衣制度を導入し、ランチタイムにはイベントを実施。多くの学生が浴衣を着て、餅つきで力試しをしたり、スーパーボールすくいをしたりしました。そして、一番盛り上がったのはスイカ割り。夏の楽しい想い出ができた1日でした。

学友会は学生のみなさんが楽しい想い出がつくれるよう、これからも大阪天王寺キャンパスを盛り上げて行きたいと考えています。応援、どうぞよろしくお願いします。

平成29年度

部活動成績

硬式野球部	近畿学生野球連盟　3部優勝　2部昇格
男子バスケットボール部	第44回関西学生バスケットボール選手権大会　3回戦進出 兵庫県学生選手権大会　第4位
女子柔道部	第25回 関西学生女子柔道優勝大会　3人制　第3位
ウェイトリフティング部	櫻由貴選手　世界ベンチプレス選手権　第4位 第29回　近畿ベンチプレス選手権大会　優勝
陸上部	桒垣威千介選手　西日本インカレ出場　男子800m 日本学生陸上競技個人選手権大会出場

平成29年度留学生（姫路キャンパス）

平成29年度　姫路キャンパスには14名（中国4名、ベトナム9名、ネパール1名）の留学生が入学しました。4学年の総数は33名となりました。先輩留学生の面倒見の良さもあり、勉学とアルバイトの両立も上手くいっている様子が伺えます。4月17日には学生食堂北ホールにて留学生交流会を実施。また、6月4日には近隣の施設を利用しBBQ大会を開催しました。

▲ BBQ交流会　グリーンエコー笠形

新任教員の紹介

社会福祉学科

教授
武藤 大司
(ムトウ ダイジ)
努力の末にある
社会福祉士合格！

社会福祉学科

准教授
青木 好代
(アオキ タカヨ)
保育の魅力を
発信していきます。

社会福祉学科

講師
佐々木 徹雄
(ササキ テツオ)
学生と共に、子どもの思いを
探していきたいです。

社会福祉学科

助教
柴田 精一
(シバタ セイイチ)
未来の保育士に
豊かな表現の経験を！

社会福祉学科

助教
中田 喜一
(ナカタ キイチ)
主に、実習関連を
担当しています。

健康スポーツコミュニケーション学科

教授
田中 利明
(タナカ トシアキ)
障害者スポーツ等の
授業をしています。

健康スポーツコミュニケーション学科

教授
牧野 恭典
(マキノ ヤスノリ)
福祉マネジメント中心に
取り組みます。

健康スポーツコミュニケーション学科

准教授
野本 玲子
(ノモト レイコ)
学生がこうふくに
生きる応援をします。

健康スポーツコミュニケーション学科

講師
浦田 達也
(ウラタ タツヤ)
一所懸命
頑張ります。

健康スポーツコミュニケーション学科

講師
栗田 昇平
(クリタ ショウヘイ)
学生の将来のために
尽力します。

経営福祉ビジネス学科

教授
卯尾 章
(ウオ アキラ)
福祉を学び、
豊かな人生を

こうふくフェスタ「播彩祭」

皆さん、こんにちは。こうふくフェスタ第18回播彩祭～紬(つむぐ)～で実行委員長を務めさせて頂きます。健康スポーツコミュニケーション学科3年の岩下文香です。

昨年度は皆さんのご協力により、無事に第17回播彩祭～WA!!～を終えることが出来ました。

さて、今年度は10月28日(土)･10月29日(日)の2日間にわたり『こうふくフェスタ第18回播彩祭～紬(つむぐ)～』を開催致します。

先日、今年のサブタイトルは『～紬(つむぐ)～』に決定致しました。「一人一人の想いの糸を結んでいけるように。」「播彩祭を通して大切な何かを見つけてもらい、自分らしくそれを築きあげてほしい。」という想いが込められております。

播彩祭にご協力頂いた方や、参加頂いた方の想いを紬ぎ、皆さんのこれからに繋がるような、とても楽しくキラキラした2日間になりますよう、実行委員一同全力で頑張っていきたいと思っております。

素敵な播彩祭を創り上げるためにも、私たちと一緒に播彩祭を盛り上げて頂ければと思います。

最後になりましたが、後援会の皆様には多大なるご支援･ご協力を頂き、誠に感謝申し上げます。播彩祭実行委員会一同、皆様のご来場を心よりお待ち申し上げております。

発行日：平成29年9月1日
発　行：**神戸医療福祉大学後援会**
事務局　学生課　〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5
TEL（0790）22-5125　FAX（0790）22-6941　E-mal : gakuseibu@sw.kinwu.ac.jp
HP : http://www.kinwu.ac.jp/